

松 緑 白 花

Vol 20

石垣市立石垣中学校
教 頭 伊舎堂 用右

自ら学び、考え、表現することによって高めあう生徒の育成

～主体的・対話的で深い学びのある授業づくりとその評価を通して～

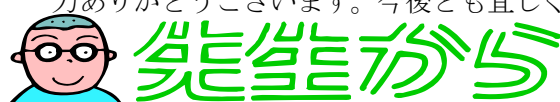
上記は本校の校内研究テーマです。生徒の力を高めるために授業づくりと評価について研究を深めているところです。校内研究テーマを検証すべく去った8日(水)の5校時に、期末テストが終了後でしたが3-5の比嘉和樹先生が研究授業(学級活動)を行いました。

よりよい学級づくりを行うための話し合い活動を行い、生徒主体で行いました。一口に話し合い活動と言っても事前の準備がないとできません。放課後や隙間時間を利用し、担任と学級役員でアンケートから学級の実態把握、課題を見つけ、学級討議で解決へ導いていく流れです。司会進行から資料作り等も担任と協力して学級役員が行います。学級の課題解決のために小グループで話し合い、意見を集約しグループの提案を短冊にしたため発表します。それから、合意形成を図ります。自分の学生時代を振り返ってみると多数決で最終の着地点を見出していた感じがします。多数決をとり「はい!」終わりって感じだったような気がします。採用されない意見に「ぶうぶう」文句を言っていたかなあ。合意形成とは多数決に頼らず、各々の意見を話し合いによってまとめていくことです。例えば「この意見とこの意見のここを足してみよう」とか「この意見を優先して行うがダメな場合は次にこれをやってみては」等々お互いが納得しまとめていく方法です。

3-5の小グループでの話し合いも全体での合意形成の場でも活発に意見交換がなされ、さすが3年生だと思いました。お互いの考えを否定せず、尊重する姿勢、発展的な意見など、まさしく校内研究テーマに迫る生徒達の自ら学び、考え、表現し高めあう時間だったと思います。密を防ぐために対話的な活動が制限される中での授業でしたが、全職員での参観は教科の垣根を越えて色々、勉強になる時間でした。

授業後はお招きしていた八重山教育事務所の豊見本長勝指導主事からの「素晴らしい授業でした」というお褒めの言葉と共に学習意欲をかきたてる動機付けが大切であるという指導助言をもらいました。資料もたくさん頂きました。私たちのこれからの研究に生かし、生徒へ還元できるよう研究を重ねていきたいと思えます。和樹先生と3-5の皆さん、ありがとうございました。

このように先生方も日々、毎時間の授業をつくるため研究に励んでいます。校内研とは別に各教科の教科会も毎週1回、学力向上に関する会議も毎週1回、生徒支援に関する会議も毎週1回と生徒達の学力向上・健やかな心・体の成長のために努力しています。先生方の思いも大きいです。石垣中学校の生徒の皆さん、これからも一緒に頑張っていきましょうね。保護者の皆さんも、日頃からの本校の教育活動へのご理解とご協力ありがとうございます。今後とも宜しくお願いします。



今年度、作成に少し時間がかかりましたが自校の家庭学習ノートをつくりました。家庭学習強化旬間(6/22～)中にテスト勉強で既に1冊目を終了した生徒が2-5に2名、1-5で1名とすごく頑張っているなと感じました。

テスト結果も楽しみです。保護者のサインをもらい、校長先生が押印後、新しいノートを渡します。皆さん、校長先生は待っています。頑張って校長先生に会いに行こう!



デザイン担当: 大濱朋子先生(美術担当)



3-5担任: 比嘉和樹先生



授業の様子



校内研の様子

上記の授業の様子は石垣中学校ホームページに写真と共に掲載しています。ご覧ください。